

株式会社アルメディア・ネットワーク(大阪府大阪市)

【システム開発、ネットワークの構築・運用等】

商工会議所のイテオン

女性の活躍推進

LEADER

代表取締役 堀内 雅司 氏



創業以来、経営者の強い意志で女性の活躍を推進し、女性社員を営業職や技術職など幅広い職域に配置してきた株式会社アルメディア・ネットワーク。結婚や出産などのライフイベントに左右されることなく、継続して就業できる環境づくりに注力している。

幅広い職域に配置した女性が活躍

■背景・きっかけ:

女性は特有のきめ細かさや気遣いがあり、それらを活かして活躍してほしいと考え、同社では創業以来、女性を重用してきた。営業職や技術職など幅広い職域に配置するとともに、結婚や出産などのライフイベントに左右されることなく、継続して就業できる環境づくりに注力している。

■取組内容・効果:

同社では、「face to face」のコミュニケーションを大切にしている。客先に常駐する業務が多いことから、全社員が一堂に会する全体会議を年に6回実施している。会議では、成果発表や事業報告が行われ、経営者と社員がビジョンを共有する場となっている。さらに、双方向の意見交換も活発に行われ、研修や勉強会、コミュニティ(自主運営する有志の勉強会)の立ち上げなど、多くの企画がボトムアップの形で創出されている。また、歓迎会や社員旅行などのレクリエーションも多く開催され、社員間のコミュニケーションも活発で、風通しの良い社風である。

ダイバーシティ経営を志向し、女性も男性も働きやすい環境にするため、社員の意見を聞きながら制度を整備してきた同社。webで受講できるスキルアップ研修を提供することで復職をサポートしたり、残業しない働き方や短時間勤務を推奨してワークライフバランスを支援するなど、制度や仕組みを整え、実践している。その一つが「マルチタスク化」。一つの業務を二人以上で担当し、一人が急に休まざるを得ない事態にも備えている。

技術職では、現在、女性社員のうち、子育て中が2人、育休中の社員が1人いる。これまでに育休を取得した社員にも定期的にヒアリングして、要望を聞き取り、社員の不安を和らげることで、スムーズに職場に復帰している。育休取得者や時短勤務者が出て、周囲が自然に協力する風土ができていて、顧客ニーズへの対応でもプラスに働き、業績アップにもつながっている。

■今後の展望と課題:

取締役の堀内 智子氏は「働きやすい制度の整備と、フレキシブルに運用できることが当社の強み」と考えている。「女性の活躍推進は、中小企業の特徴を活かし、経営者が強い意志を持って進めることが大切。臆せず、スピーディーに取り組み、社会全体で、女性の活躍の場を広げていきたい」としている。

中小企業の実践ポイント

- 女性社員も幅広い職域に配置
- 「マルチタスク化」で急な事態にも対応できる体制の整備



10周年記念パーティー



10周年記念社員旅行



内定者研修

【企業データ】

代表者	堀内 雅司	会社設立年	2002年	従業員数	58人(男性45人、女性13人)
本社所在地	大阪市西区西本町1丁目3番15号 大阪建大ビル10F		ホームページ	https://www.allmedia.co.jp/	
事業内容	オープン系/WEB系/組込・制御系を中心としたシステム開発、ネットワークの構築～運用、ヘルプデスク、フィールドサポート支援業務、医療情報システムのコンサルティング～導入支援業務				